

## 第6学年 防災学習指導案（総合的な学習の時間）

日 時 令和4年9月29日（木）

場 所 6年教室

児 童 7名

指導者 渡辺 圭悟

| 題材について        |  |   |   |
|---------------|--|---|---|
| <b>題材名</b>    | 岩手山とともに生きる ～伝えよう わたしたちの住むまち八幡平市の魅力～  |   |   |
| <b>目標</b>     | 岩手山が火山であることでもたらされた恩恵について調べることを通して、自然と共存して暮らしている郷土の素晴らしさに気付き、自然と共に生きていこうとする態度を養う。   |   |   |
| <b>指導内容</b>   | <p>本題材では、岩手山が火山であることや過去の噴火の歴史を知ると共に、多くの恩恵をうけていることを理解させる。また火山があると、どのような恩恵を受けることができるかを調べさせ、多くの恵みによって、人々の生活が豊かになっていることを理解させる。そして、身近に火山があることは恐ろしいことではなく、自然の恵みを享受できる喜びの心情を育てたい。さらに、他の地域の人へ発信する活動を通じて、改めて自己の生き方について考えるきっかけとしたい。</p> <p>本時は、自分達が住んでいる八幡平市では、恩恵をどのように活用しているかを調べさせる。火山によってつくられた風景や温泉・湧き水を観光資源にしたり、地熱を産業に活用したりしていることに気付かせ、豊かな自然と共存している地域を愛する心情を高めたい。</p> |   |   |
| <b>児童の実態</b>  | <p>児童はこれまで、岩手山噴火の歴史や火山噴火の被害、避難行動、減災の取り組みについて学習してきた。これまでの学習によって、噴火の可能性のある岩手山が近くにあることから、郷土に対して負のイメージをもってしまった児童もいると予想される。しかし、児童は幼少期から、温泉に入ったり、登山をしたり、地域の自然の美しさを感じたりする経験をしている。</p> <p>防災意識アンケートでは、「火山があるといいこともあると知っていますか。」の設問に肯定的に回答した児童は6人、否定的に回答した児童が1人いた。また昨年度、地熱発電や地熱蒸気染などを見学したり体験活動をしたりして、火山の恩恵について知っていることもある。</p>  |   |   |
| <b>指導計画</b>   | <p>第1時…防災学習の意義について考える。噴火の仕組みについて知る。<br/>(副読本P2～3)</p> <p>第2時…岩手山噴火の歴史について調べる。(副読本P14～15)</p> <p>第3時…火山は、多くの恩恵をもたらすことを理解する。</p> <p>第4・5時…八幡平市では、火山の恩恵をどのように活用しているかを調べ、郷土の素晴らしさを伝える準備をする。(副読本P18～19)【本時4/6時】</p> <p>時間外…被災地交流学习(行事)</p> <p>第6時…交流学习の振り返りをし、災害で避難した後、自分にできることについて考え、これまでの学習についてまとめる。(副読本P13)</p> <p>関連…大地のつくり(理科)</p>                             |   |   |
| 本時の指導         |  |   |   |
| <b>防災教育項目</b> | Ⅲ 地域の火山被害、火山の恩恵を知る      C 火山の恩恵・利用を知る  |   |   |
| <b>目標</b>     | 八幡平市では、火山の恩恵をどのように活用しているかを調べ、郷土の素晴らしさを伝えようとする態度を養う。  |   |   |
| <b>主体的な学び</b> | <b>つきたい力</b>   | <b>手立て</b>  | <b>評価規準</b>   |
|               | 八幡平市では、火山の恩恵をどのように活用しているかを調べることで、八幡平市は、自然と共存している地域であることに気付く力。  | 前時で学習した火山の恩恵をもとに、八幡平市の観光や産業を具体的に調べさせる。そして、身近にあったものや経験してきたことが、火山の恩恵であったと気付かせる。 | 八幡平市は、火山の恩恵を活用して産業を盛んにしていることに気付き、自然と共存している地域の素晴らしさを感じている。<br>(ワークシート) |

| 本時の展開  |  |  |
|--|--|--|
|  | 学習活動と予想される児童の反応（・）   | 指導上の留意点と資料（◆）  |
| 第4時<br>(本時)  | 導入<br>5分<br><br>1 火山があると、どのような恩恵をうけることができるかを想起する。<br>・温泉。 ・農業に適した土地。<br>・地熱発電。 ・地熱染め。<br>・湧き水。<br>・美しい景色。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             八幡平市にある、火山の恵みを調べ、わたしたちの住む街の魅力を伝えよう。           </div>  | ○前時に学習した火山の恩恵について想起させる。<br><br>○一般的な火山の恩恵は理解したが、岩手山が近い八幡平市にはどのような火山の恩恵があるかを調べさせる。また、宮古小学校との交流学习の際に「わたしたちの住む街の魅力」として紹介するという目的意識をもたせる。   |
|  | 展開<br><br>40分<br><br>2 八幡平市にある火山の恩恵を調べる。<br>・温泉宿がたくさんある。<br>・地熱発電所がある。<br>・地熱染めをしている。<br>・地熱をつかった農業をしている。<br>・清水がある。<br>・八幡平に登山やスキーをしに観光客が来ている。<br>・焼走りを見に来る人がいる。<br><br>3 本時の学習を振り返る。<br>・まだまだたくさんの火山の恵みがあるので、次の時間は別の恩恵についても調べてみたい。<br>・たくさんの恵みを受けていることに気付いたので、その魅力を伝えてきたい。   | ○前時で一般的な例として挙げられた火山の恩恵「豊かな土地」「美しい風景」「豊かな水と温泉」「地熱の利用」について、八幡平市では、どうなっているかを、副読本やインターネット、パンフレットなどを活用して調べる。 ◆副読本 P18～P19<br>○火山の恩恵を活用している地域や産業について、関心をもったものから調べ、整理していく。 ◆インターネット<br><br>○本時の学習感想を記述するとともに、次時はさらにどんなことを調べてみたいかについても考えさせ、主体的な学習につながるようにする。 |
|  | 第5時<br><br>30分<br><br>4 調べたことの中からまちの魅力として紹介したいものを選び、紹介カードを作る。作ったカードを交流し合う。<br>・温泉宿は多いなあ。<br>・地熱発電所は2つで、あと1つ建設中。<br>・地熱染はやったことがある。<br>・景色も恩恵なのか。<br>・名水に選ばれるほどの清水があるのか。   | ○個々で調べたことを交流し、これまで体験したことや、既に知っていたことが、火山の恩恵だったことに気付かせる。<br>○火山の恵みを活用した産業がたくさんあることで、八幡平市の自然の豊かさを実感させる。   |
| 終末<br>15分<br><br>5 学習をまとめる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             わたしたちが住んでいる八幡平市には、多く火山の恵みがあります。八幡平市は、火山の恵みを、観光や産業にいかし、自然と共存している魅力あふれる市です。           </div> 6 本時の学習を振り返る。<br>・岩手山は噴火するのが怖いと思っていたが、いいこともあるとわかった。八幡平市は、火山を利用して暮らしている地域だと紹介したい。<br>・火山があるおかげで豊かに暮らせることがわかった。他の地域の人に八幡平市は、自然と共存している、いい街だと伝えたい。 | ○学習したことをまとめ、八幡平市は火山の恩恵をいかしていることに気付かせ、火山は恐ろしい面だけでなく、生活を豊かにしているよい面もあることまで、考えを広げさせる。<br><br>○交流学习の際に、自分たちの住む八幡平市の魅力をどのように紹介するか、本時の学習から得た未来への思いの2点について振り返りをさせる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             評価：八幡平市は、火山の恩恵を活用して産業を盛んにしていることに気づき、自然と共存している地域の素晴らしさを感じている。(ワークシート)           </div> |  |